

## ランチョンセミナー 6 [LS6]

日時：2023年4月6日(木) 12:40～13:40

会場：第6会場(7FホールD7)

4月6日(木)

第127回 日本眼科学会総会 ランチョンセミナー

# 画像・映像 鮮明化技術の 臨床的意義と可能性

**座長** 横井 則彦 先生 / 京都府立医科大学

画像鮮明化アルゴリズム「MIEr-テクノロジー」は産業用に開発された技術で、以前よりセキュリティ、インフラストラクチャ分野で活用されてきました。

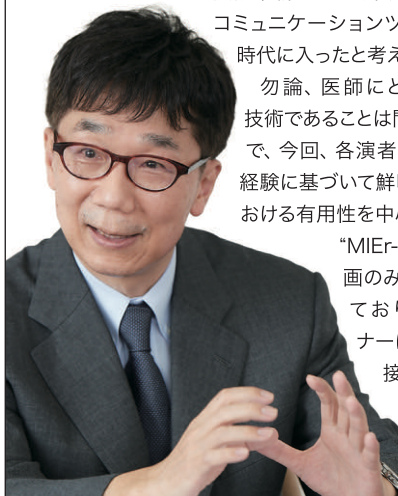
この技術の医療分野への転用を他科に先駆け眼科で開発することになり、私はその開発当初より参画してきました。昨年よりこの技術の眼科での臨床応用が、装置型の「MIEr®」、クラウドサービス型の「MIEr-CIS」、ソフトウェア型の「Soft-MIEr」として本格的に始まりましたので、「画像・映像鮮明化技術の臨床応用と将来展望」と題して本セミナーを企画しました。

この技術を使用して驚いたのは、これまで患者さんへの説明用として利用できなかった不鮮明な画像が、鮮明化され、患者さんの理解が高まることを経験できたことです。患者さんのお理解がないと治療への意欲も半減してしまいますので、

この技術革新により、鮮明な画像が患者さんとのコミュニケーションツールとして活用できる時代に入ったと考えています。

勿論、医師にとっても非常に有用な技術であることは間違いありません。そこで、今回、各演者の先生方にそれぞれの経験に基づいて鮮明化技術の眼科診療における有用性を中心にお話いただきます。

“MIEr-テクノロジー”は静止画のみならず動画にも対応しておりますので、是非セミナーにご参加いただいで、直接ご自身の目でその実力を確認いただければと思います。



**演者**



**オープニング / クロージング**  
横井 則彦 先生 / 京都府立医科大学



**眼科未来をリードする鮮明化技術の基礎と前眼部画像への応用**  
福岡 秀記 先生 / 京都府立医科大学



**画像鮮明化の超広角眼底画像への応用**  
山下 耀平 先生 / 京都府立医科大学



**映像鮮明化の手術への応用**  
青木 崇倫 先生 / 京都府立医科大学



**鮮明化画像を用いた眼内炎症の自動定量評価**  
永田 健児 先生 / 京都府立医科大学

Logic & Design

株式会社 ロジック・アンド・デザイン  
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-15  
アーバンビルサカス8  
TEL: 03-4500-7755

“見える”の向こうにあるものを。  
SENJU

千寿製薬株式会社 医療機器事業部  
〒541-0048 大阪市中央区瓦町三丁目1番9号  
TEL: 06-7178-2999